

令和元年 2定 予算特別委員会 総合政策部審査 開催状況

開催年月日 令和元年7月9日

質問者 日本共産党 宮川 潤 委員

担当部課 総合政策部交通政策局交通企画課

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
一 JR北海道の経営問題等について (一) JR北海道の運賃値上げの合理性について JR北海道は、10月に予定されている消費税10%増税に合わせて大幅な値上げを国土交通省に対して申請いたしました。JR北海道が申請している普通料金全体の値上げは平均で15.7%ですけれども、札幌圏の7～10キロ区間は最大で31.8%もの大幅値上げとなり、札幌圏の住民生活に多大な影響を与えることは明らかであります。 道は、今回の値上げの合理性について、どう受け止めていますか。値上げはやむを得ないで済まされるようなものではないと考えますけれどもいかがですか。 (二) 運賃値上げの影響について 今回の値上げは近距離ほど値上げ幅が大きく、札幌圏でJRから地下鉄に利用客が流れるために、大きな経営改善にはならないのではないかと想定されます。道は運賃値上げの影響をどのように考えていますか、伺います。 (三) 道に対するJR北海道の説明などについて 値上げの説明を行えば負担が軽減されるということではないと思いますが、JR他社の値上げはいずれも消費税増税分の転嫁であり、JR北海道が突出して値上げ幅が大きいけれども、道はJR北海道からどのように説明を受けましたか。また、他社よりも高い値上げの道民負担について理解を得られるとお考えですか。 (四) 運賃値上げによる利用客の流出について JR北海道自身の試算でも、運賃値上げにより26億円分の利用客の流出を見込んでいるようであります。道や沿線自治体は利用促進のために自ら財源を捻出しているという時に、利用客の流出を自ら招くようなことは全く逆行することではないかと考えますが、道の見解を伺います。 (五) 公聴会における公述人の意見について 7月1日に運輸審議会による公聴会が行われました。その際、公述人全員が運賃値上げに反対を表明したことについて、道民理解が到底得られていないと考えますけれども、いかがですか。	【鉄道交通担当課長】 運賃値上げについてであります。今回の運賃改定は、国からの監督命令に基づく経営改善に向けた取組の一つであると承知しており、現在、国において、関係法令に基づく所定の手続きを踏まえて審査を行っているものと承知してございます。 【鉄道交通担当課長】 運賃値上げの影響についてであります。今回の値上げが実施された場合、道民の皆様の暮らしへの影響も心配されますことから、道といたしましては、JR北海道が利用者の皆様に丁寧な説明を行うことが必要と考えております。 【鉄道交通担当課長】 道への説明についてであります。運賃改定につきましては、去る5月24日に、JR北海道社長から知事に直接説明があったところであり、その際、JRに対しまして、徹底した自助努力を行うとともに、改定の必要性や値上げで得られた利益をいかに利便性の向上などにつなげていくのかなど、地域や利用者の方々に対し、丁寧に説明するよう求めたところでございます。 【鉄道交通担当課長】 運賃改定の影響についてであります。JR北海道においては、経営自立に向けて、本年4月に長期経営ビジョンや中期経営計画を策定したところであり、JRからは、運賃改定につきましては、一定の利用客の流出を見込んで増収につながると判断したものと聞いてございます。 【鉄道交通担当課長】 道民への説明についてであります。道といたしましては、公聴会における公述人の意見を含め、運賃改定に対し、「利用者への負担が増える」、「通学への影響が懸念される」といった道民からの厳しいご意見があることをJR北海道が真摯に受けとめ、地域や利用者に対し、今回の改定の内容や必要性について、丁寧に説明し、理解を求めていく必要があるものと考えてございます。

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
（六）ＪＲ北海道に対する働きかけについて 先的一般質問において我が会派の真下議員の質問に対しても、知事は、「改訂の必要性や値上げによる利便性の向上等について丁寧に説明するよう引き続き求める」と答弁をいたしましたし、本日の質問の中でも「丁寧に説明を求める」という答弁が繰り返されておりますけれども、具体的にどう行動するおつもりか、「値上げは困る」という道民の声をJRに対して理解を求めていくというつもりはありませんか、伺います。 （七）道民負担の軽減について 運賃値上げ申請の５日後に、JR北海道は「札幌－新函館北斗間」の５分短縮のためとして１２０億円の追加工事を発表しました。 北海道新幹線の高速のために１２０億円もJRは抛出し、運賃値上げで４０億円の道民負担を求めるということであれば、地方路線を廃線することなく存続させるというふうに願うことは当然のことだと思います。 道として、何らかの対策を講じる必要があると思いますけれども、いかがですか。 高速化、５分短縮のために１２０億円かけながら、運賃値上げで４０億円の負担を道民に求め、地方路線を存続させるための費用負担もできないなら廃線するというのでは、到底理解は得られないと思います。道の役割が強く求められるということを改めて指摘しまして、次の空港の民間委託についての質問に移ります。	【鉄道交通担当課長】 JR北海道への対応についてであります。運賃改定にあたりましては、道民の皆様の暮らしへの影響も心配されるところであり、道といたしましては、JR北海道が徹底した経営努力を行うとともに、改定の必要性や値上げによる利便性向上等につきまして、地域や利用者の方々に対し、丁寧に説明するよう、引き続き求めてまいります。 【交通政策局長】 今後の道の対応についてでございますが、JR北海道におきましては、JRを利用する地域の皆様のご協力のもと、安全性及びサービス水準の維持・向上に加えまして、地域交通を維持していく観点から、今回の運賃改定を行うものと承知しております。 道といたしましては、今後とも、JRが公共交通機関としての役割や地域への影響を十分に考慮し、徹底した自助努力のもと、経営改善に向けた取組を進めるよう求めてまいります。